

完全データ入稿について

「完全データ」とは、そのまま製版できるデータのことを表します。

(レイアウト・デザイン済(≠完全)データ入稿になります)

- データ入稿において、弊社でデータ修正することはございません。
必ず誤字・脱字等の校正後、アウトライン済データをご入稿下さい。
(印刷上問題があると判断されたデータのみご連絡を致します)
- 色に関しましては、必ずCMYKにてご指定ください。
特色(D I C / PANTONE)・RGBなどの色指示は扱っておりせん。
- ラインに関しましては必ず塗りではなく、線にてご指定下さい。
細いラインのような塗りは印刷がされない場合がございます。

<完全データ入稿>の注意事項

- CMYKとRGBについて…色の表現方法にはRGB(光の三原色)とCMYK(色の三原色)があり、モニターはRGBで、印刷はCMYKです。
- RGBの方がCMYKより色再現域が広いので、モニター上ではCMYKの色を再現できますが、印刷ではRGBの色を再現できない部分があります。(彩度の高い鮮やかな色、特に空や海などの鮮やかなブルーや蛍光色のような色は彩度が落ちた濁った色になります)
- 通常はフォトショップなどの画像修正ソフトでCMYKに変換後、トーンカーブ等で色調補正を行っていますが、全てにおいて補正が必要なわけではありません。

Adobe Illustratorデータについて

- トンボを入れて下さい。

1. 断ち落としが必要なデザインの場合、断ち落とし分として3mmの塗り足しを取って下さい。
仕上げの断裁時に必要になります。

2. 4色カラーの場合、トンボはC100 M100 Y100 K100で制作。

3. トンボは、「フィルター」→「クリエイト」→「トリムマーク」で制作して下さい。

4. 太さは0.2ptか0.25ptで指定してください。一般的には0.3ptから安全ラインのようです。

5. 1色印刷の場合、トンボの色はCMYKのいずれか1色(100%)で制作して下さい。

- 1色印刷の場合はCMYKのいずれかの1色にて制作して下さい。

- 文字データはアウトライン化して下さい。

- 全てアウトライン処理を行って下さい。

アウトライン処理を忘れた場合、再入稿して頂かないと作業が進行できません。

- アウトライン処理されていないデータを弊社で開いた際、書体が変わることがあります。

- 極端に小さい文字や、白抜き文字はキレイに印刷されないことがあります。

- 多色かけ合わせでの白抜き文字の場合6pt以下は避けた方が無難です。

- 罫線は「塗り」をなしに、「線」に着色して下さい。

- 罫線指示が「塗り」だけで設定されていると、モニターやプリンターでは表示されますが、印刷では反映されません。

- 線幅は、0.2pt以上で設定して下さい。最小単位は印刷会社によりまちまち(最低0.2pt~0.3pt)

- 線抜けが原因で再印刷の料金はおお客様の負担となりますので、データ作成上で必ず留意して下さい。

- 平網ベタや写真の上に細かい白抜き罫を使用すると、線がつぶれることがあります。

※例えば罫線の線幅が1ptだったら印刷されますが、それ自体に縮小をかけたり、他のソフトに貼り込む時に縮小したりした場合は、線の太さが細くなりつぶれることがあります。

- ソフトにもよりますが「極細」「ヘアライン」と書かれている設定は印刷すると線がつぶれることがあります

- グラデーション

- イラストレータでの複雑すぎるグラデーションはトラブルの原因となる場合があります。

イラストレータで作成した複雑なグラデーションは、出来るだけフォトショップデータに変換してください。

- 4色総ベタは使用しないで下さい。

(4色総ベタは裏写りやトラブルの原因になります)

- 締まった墨を表現されたい時は、K100%+C40%に設定して下さい。

- さらに深い墨を表現されたい時は、これにY40% M40%を足して下さい。

- 大型オフセット出力A1、B2など基本的には他の原稿と作成方法は同じです。

但し、配置画像は解像度 200dpi 程度にしてください。

大きすぎるデータは正しく出力されない場合があります。

原稿は、実寸で作成してください。

Adobe Photoshopデータについて

- 写真データも必ず添付して下さい(同一フォルダに入れる事を推奨します)
- 写真データは、ラスタライズではなくリンクで配置して下さい。
(ラスタライズはデータが重くなり、エラーの原因となります)
- 埋め込み(ラスタライズ)の場合、作業に時間がかかります。
- 埋め込まれた画像の訂正・修正はお受けできません。
- 画像を配置する時はリンクボックスをチェックして下さい。
- 保存形式はEPS・写真画像を含めて保存して下さい。

<画像について>

※CMYK モード(350dpi)グレースケール(350dpi)、またはモノクロ 2 階調(1000dpi)で作成してください。

※RGB モードを使用されますと、印刷時に色調が変わりますのでご注意ください。

※保存形式は 『Photoshop EPS』 にして下さい。

プレビュー:Macintosh 8-bit/pixels

- エンコーディング:バイナリ
- ハーフトーンスクリーンなどは使用しないで下さい。
- RGBデータは出力できません。必ずCMYKに変換して下さい。
- 解像度の低い画像データは、印刷時に画像が粗くなります。
- 解像度72dpiは、モニタプレビューにおける標準解像度であり、
モニタ上では画像が綺麗に見えますが、印刷の際は粗くなった状態になります。
- もともと解像度の低いデータを、修正して高解像度にすることは出来ません。

その他 注意事項

●ファイルについて(重要)

○ファイル名、フォルダ名は半角31文字以上は付けないでください。

全角文字は使用しないでください。

○ファイル名、フォルダ名として使用できない文字

¥、/、;、:、*、?、”、<、>、|、·、(スペース)

○その他の記号も基本的には使用しないでください。

○フォルダ、ファイル名ともに短いほどエラーが少なくなります。

○画像データ、イラレデータをできるだけ同一ファイル内に保存し、なるべくフォルダ内に別の階層フォルダを作らない。

< その他 >

■ バックアップを必ず取って下さい。

お預かりしたメディアは丁寧に取扱い致しますが、

予期せぬデータクラッシュが発生した場合の責任は負いかねます。

■ 不必要なデータは添付しないで下さい。

製作途中に別名保存された不完全データや他の作品のデータ等が入っているとトラブルの原因になります。

■ トラブル防止の為、出力見本を付けて下さい。

■ データと一緒に出力見本もお送りください。

< よくあるバージョンの注意事項 >

バージョン10までが一般的で、ほとんどの場合、9、10、CS等で制作したデータは、

○保存段階でバージョン8を指定する印刷会社が多い状況です。

○ご依頼の際は、使用されたOS(Windows もしくは Machintosh)、ソフト名、バージョン等をお知らせ下さい。